

# 藤 波

—高崎健康福祉大学図書館報—

ISSN 0919-4029

第2巻第20号 2021年3月1日

編集・発行 高崎健康福祉大学図書館

<https://library.takasaki-u.ac.jp/>

〒370-0033 高崎市中大類町37-1

TEL.(027)352-1290(代)

FAX.(027)353-2055



## [巻頭随筆]

### 「恩師から学んだこと」

薬学部長 寺田 勝英

私が生涯研究を志そうと意識したのは、卒業研究のために研究室に配属され、ほぼ毎日のように終日研究室に入り浸っていた頃だったと思う。研究を志すと言っても大学に残って研究を続けたいと考えた訳ではなく、漠然と何らかの形で研究に関わり続けたいという程度であった。あの頃は4年生（当時の薬学は4年制）になると仲間はほとんど研究室に入り浸っていたように思う。研究室では、卒業研究のほかに文献紹介、輪読会などが行われた。輪読会というのは、研究室の教員、大学院生、研究生、卒研生が一緒になって、当番制で1冊の専門書を大体1年かけて、言葉の一字一句、数式が出てくれば元の式から誘導し、読破して行くもので、始めはかなりきつい勉強会であった。もうほとんど処分してしまったが、気に入った本だったのであろう。手元に輪読会で使った「ラシブルック著 統計力学 理論と応用の手引き（白水社）」があったので久しぶりに開いてみた。当時一生懸命に式を誘導した跡、この文章表現は何を意味しているのかななどのメモが残っている。先生や先輩方から厳しい質問を受け冷や汗をかきながら一生懸命に対応したものだ。私たちはこうして研究室で専門分野の学問について鍛えられた。統計力学は、私にとって熱力学的な現象、すなわちマクロな現象を分子レベルで概念をイメージするのにその後とても役立った。私の専門は「製剤学・物理薬剤学」という学問で、理学系や工学系に近く、学外の先生方からも学ぶことが多かった。卒研の研究テーマに参考になる本がないかと教授室の本棚を見て、「J. Clank 著 The Mathematics of Diffusion(Oxford University Press)」という書物を購入したのを覚えている。ただし、自分の専門分野以外にあまり関心を持たなかったことに後悔している。もっと幅広い知識があれば自分の研究がさらに広がっただろうと思う。学生の皆さんは、卒業研究の前の学部で学ぶ科目はカリキュラム・マップに示されているように全て繋がりがあり、その後の研究や教育の基礎になるので学部で学ぶ全ての科目に全力で励んでいただきたい。

さて研究室の恩師は、専門用語の定義にとっても厳しかった。私はもう第一線を退きつつあるが、日本薬局方の審議やICH(医薬品規制調和国際会議：International Conference on Harmonisation)に関わっていると言葉の定義や正確な理解がとても大切だ

ということを痛感する。何気なく使っている用語に室温とか常温という言葉がある。日本薬局方では、室温とは1℃～30℃であり0℃は含まない。常温とは15℃～25℃である。日本薬局方では医薬品の通常の試験は常温で行うように規定されている。省エネのため環境省が推奨する夏の生活温度は28℃である。そのため日本薬局方の審議会で常温の温度の定義を変更できないかということが議論になったことがある。些細なことのように見えるが、用語の一つひとつが決められていく経緯に深い意味があり、そのことを理解した上で用語を使わないとこれまで蓄積されてきた科学データと整合性がつかなくなる。このようなことは、医薬品の開発がグローバル化している現在、ますます重要となる。最近、ICH 13の連続生産(Continuous Manufacturing)の中で議論された内容のひとつに、コントロールされた状態(state of control)をどう定義するか委員会の中で侃々諤々の議論となった。新しい用語を定義するにはとても慎重が必要である。もちろん海外と整合性が取れていないとグローバルな医薬品の開発ができない。もう10年以上前になるが、恩師から「GMP・ICH医薬用語辞典 仲井由宣著(じほう)」を出版したからと送られてきた。グローバル化が進んだ現在、改めて恩師が厳しくおっしゃっていた科学用語の定義の重要性を痛感する。

さて、2006年から6年制薬学教育が始まった。これまでの薬学に欠けていた臨床に関わる実践的な能力を有する薬剤師を養成することを目的としており、薬剤師に求められる基本的資質も示されている。「豊かな人間性と医療人としての高い使命感を有し、生命の尊厳さを深く認識し、生涯にわたって薬の専門家としての責任を持ち、人の命と健康な生活を守ることを通して社会に貢献する」というものである。思うにこの基本理念を育成するもの一つに読書があると思う。学生の頃から恩師は幅広い読書の重要性を語ってくれた。最近、このことを身に染みて感じるようになった。このところ梅原 猛の哲学書に傾倒している。梅原 猛いわく、「哲学とは人間はどう生きるべきかを自分の言葉で語るべきもの」とある。若い皆さんは専門の学問を追究するとともに幅広い読書を通じて充実した人生を送っていただきたい。

# 私の薦める1冊の本



『アメリカの高校生が学んでいるお金の教科書』 アンドリュー・O・スミス 著 桜田直美 訳 SBクリエイティブ 2019

健康福祉学部医療情報学科助教 高橋 真悟

昨年、「老後に2000万円」といった言葉が話題になりましたが覚えていただけますでしょうか？(本当かどうかわかりませんが)「老後に2000万円」が必要であるため、老後に向けて貯蓄をするなど、私たちは普段からお金のことを考えていく必要があると思います。アメリカの高校生は「お金」のことを学んでいるようで、この本の内容をきちんと理解して就職・進学していくそうですが(本書に記載)、日本の義務教育の中ではなかなかお金について勉強する機会がありません。そこで皆さんにこの本をお薦めしたいと思います。

本書は、「貯金と銀行の基本」や「予算と支出の基本」と

いった、皆さんに身近な内容だけでなく、「税金の基本」、「社会福祉の基本」、「保険の基本」といった、今後生きていく上で必要な内容もわかりやすく書かれています。また、時事経済についても述べられているので、経済の基礎知識も身につけることができます。

私自身もお金について詳しく学ぶことがありませんでしたが、この本でいろいろな税の仕組みやローンについても勉強することができました。お金に関する知識、私たちの生活に役立つ知識など様々なことを知る事ができる一冊です。



『居るのはつらいよ-ケアとセラピーについての覚書』 東畑開人 著 医学書院 2019

健康福祉学部社会福祉学科講師 出雲 春明

この本は、臨床心理士の著者が、かつて勤務していたデイケアでの体験を語る、という体で書かれています。ケアとセラピーについての学術的考察が、エッセイ形式で、若干のサスペンス要素も絡めながら展開されていきます。

「ただ居てくれるだけでいい」。これは相手の存在を肯定する最上級の表現のひとつだと思います。一方で、そこには「それだけでいいのか?」という問いがつけねにつきまといまいます。現代のコスパ社会には「ただ居るだけ」の人に居場所はありません。少なくとも、居心地の悪い思いをすることになるでしょう。社会では「何の役に立つのか」がつけねに問われ

ます。「居る」ためには何かを「する」必要があります。私たちの「居る」は「する」によって追い立てられているのです。だから、何もできないと居たたまれなくなります。死を選ぶ人すらいます。「居るのはつらいよ」。

世の中には「ただ居るだけ」を肯定してくれる声を切実に必要としている人たちがいます。「この本は『居る』を脅かす声と、『居る』を守ろうとする声をめぐる物語」(p. 13)です。この物語を通じて、「ケアとは何か」についてあらためて考えてみてください。



『給食の歴史』 藤原辰史 著 岩波新書 2018

健康福祉学部健康栄養学科准教授 深見 匡

本書は日本の学校給食の歴史を扱っている。「(学校)給食は主流の教育史の中でそれほど重視されてこなかった」(p. 254)とあるように学校給食を教育学研究の対象として捉える視点は弱かったかもしれない。栄養教諭の教職課程を担当する私には耳の痛い話である。教育学の知識は多少あっても「給食管理」や「食に関する指導」は専門の先生方の指導にお任せの状態である。しかし教育は子どもの生命や健康が保障されてこそ可能な営みであって、学校給食はその基盤であり、学校給食史も学んでおかねばならない。本書は19世紀欧米での学校給食の開始からはじまり、萌芽期(日本の19世紀後半から敗戦まで)、占領期、発展期(1970年代ま

で)、行革期(現代まで)の区分で、時々の学校給食がどのような政策背景のもとにどのような制度でどう実践されてきたかを描き出す。その際、給食は多様な側面の影響を受け現実化したことが示唆される(例えばGHQの給食支援には子どもの福祉・健康保障のみならず「治安維持」の政治目的もあった)。著者はそうして給食史を、福祉、教育、政治経済、権力関係、人々の運動の複合として紡ぐ。そして学校給食の将来については、今後の社会の貧困、教育、災害対策、地域活性化等の課題解決の「原動力」としてますます役割が大きくなると展望している。学校に限らず「給食」の職場に関わる学生たちにも読んでもらいたい。



『いのちと味覚』 辰巳芳子 著 NHK出版 2017

人間発達学部子ども教育学科講師 大塚恵美子

「人はなぜ食べなければならないのか」この問いに、皆さんは何と答えるでしょうか。この本の著者は92歳(2016年執筆時)の料理研究家ですが、冒頭の問いに、「食べることは呼吸と等しいのちの仕組みに組み込まれている」そして「すべての生物は食べなければ生きていけない。つまり、他のいのちを、自分が生きていく一つのすべにしなければ、生きていられない」と述べています。生きていきにくい時代だからこそ、生きていきやすく食べて(=生活する人になって)ほしいと5つのポイントを挙げています。①「畏れ」を持つこと②「感応力」を磨くこと③「直感力」を養うこと

④「いざのとき」を迎え撃つこと⑤「優しさ」を育てること。著者自身の体験談や、料理のレシピを盛り込みながら解説されています。

今年は、世界中が新型コロナウイルス感染症によるパンデミックの渦に巻き込まれ、日常の生活でさえ制限されるといって未曾有の事態に今なお見舞われています。当たり前の日々の暮らしが、尊いものであったと感じた方も多いのではないのでしょうか。

大変な時でも、まずは、今日おいしいものをしっかり食べて、未来に続く明日を生きましょう。数々の困難な時代を乗り越えて生きてきた著者が綴るこの一冊をお薦めします。



『カメの甲羅はあばら骨～人体で表す動物図鑑～』 川崎悟司 著 SBクリエイティブ 2019

保健医療学部看護学科教授 桑原敦志

論文を読むとき、タイトルに惹かれて読んでみたくなるのはよくある話だと思います。Amazonで、この本のタイトルと表紙のイラスト見たときに即購入しました。

ようだったら」とか、「馬のようだったら」とか、「鳥のようだったら」と、ヒトの体を動物のイラストに変換して図解しています。変なヒトがたくさん登場します。

「ヒトの頸椎の数が7個であるということ」は、解剖学の授業で学生に教えています。では、他の動物はというとキリンの頸椎もクジラの頸椎も7個だということです。生物が多様なのはわかっているつもりだったのですが、これには驚きました。授業の時にネタとして使えるのではないかと思います。

この本は、学術的にどうかはわかりませんが、たまには頭の骨休めで、生物の骨格を考えながらイラスト図鑑を読んでみるのも楽しいと思います。

1個の受精卵から生物が体を作っていくのはヒトも動物も同じです。受精卵が細胞分裂を繰り返す、成長した姿は何でこんなに違うのかと考えたりします。でも、この本はそんな難しいことを考えず、「カメの体を人間として描いたらこんな風になりますよ」という不思議なイラストと、その生物の体の仕組みの解説文が面白い図鑑です。ヒトの骨格や筋肉がどのようになっているかを考えながら、では、人が「カメの



『2030年の世界地図 あたらしい経済とSDGs、未来への展望』 落合陽一 著 SBクリエイティブ 2019

保健医療学部理学療法学科准教授 正木光裕

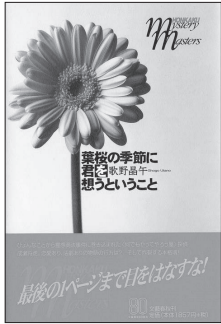
SDGsはSustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称です。2015年の国連サミットで採択され、国連加盟国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた課題解決的な17の目標(具体的なターゲット、指標も含む)になります。

象を受けます。本書では世界のこれらの課題の現状を概観した上で、各課題を今後解決するための、アメリカ、中国、インド・アフリカ、ヨーロッパによる技術革新(イノベーション)が記載されています。また、そのような各国の動向の中で、日本がSDGsの達成に向けてどのように創意工夫できるかといった選択肢も挙げられています。

SDGsには世界が直面している貧困、飢餓、ジェンダー、水の衛生、温暖化、環境、技術革新等の課題に焦点が当てられています。我々、医療・福祉分野の職種が関連する「すべての人に健康と福祉を」「質の高い教育をみんなに」といった目標も含まれており、他人事ではない印

本書を読むことで、SDGsの達成を通じて、ある課題について常に考えることを忘れずに考え続けること、すなわちアイデアを出して新しい何かを創造することの大切さを再確認できます。そして、その創造性はきっと我々の日々の医療・福祉の現場においても、共通して必要となっているのではないのでしょうか。

# 私の薦める1冊の本

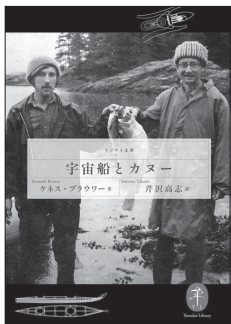


『葉桜の季節に君を想うということ』 歌野晶午 著 文藝春秋 2003

薬学部薬学科助教 信田智哉

(推理小説の紹介です。本作品をより楽しみたい方は読まないでください。)

本格ミステリ作家・歌野晶午氏が2003年に発表した傑作である。「2004年版このミステリーがすごい！」において1位を獲得するなど、多くのミステリーの賞を受賞した。あらすじは割愛するが、筆者が本作品を中盤まで読んで浮かんだ感想、というか疑問は、確かに面白い、しかしなんでこれがこのミステ1位なの？であった。歌野氏は非常に文章力の高い作家なので、スラスラ読めるし、光景は簡単に思い浮かぶし、早く続きが読みたくなる面白い作品には違いないのだが、それにしたってそこまで高い評価を得る作品なのだろうか、と思いながら読んでいた。終盤になってその謎は解ける。本作品の仕掛けは衝撃的であるが、詳細を書くことはできない。筆者はそれが明かされたとき、まったく理解できなかった。混乱しながら、あれどっか読み飛ばしたっけ、と思い、パラパラと前の方のページをめくっていたら頭に衝撃が走り、ようやく理解した。最初から間違った光景を見せられていたのだ。本作品を読み直してみると、最初の一文から終盤に至るまで、巧妙に仕掛けが施されているのが分かるのだが、歌野氏の卓越した文章力もまた、本作品における仕掛けの1つといえるだろう。



『宇宙船とカヌー』 ケネス・ブラウナー 著 芹沢高志 訳 山と溪谷社 2013

農学部生物生産学科講師 大野英一

本書は、ダイソン球の発案者として知られる物理学者のフリーマン・ダイソンとその息子ジョージ・B・ダイソンの父と息子の物語である。フリーマン・ダイソンの父のジョージ・ダイソンは作曲家、妻のヴェレーナ・ヒューバー・ダイソンは数学者、娘のエスター・ダイソンはテクノロジー系ジャーナリストであり、ベンチャー投資家という華やかな一族である。そうした家系の中で、ジョージ・B・ダイソンはエコロジストとしての道を選ぶ。父と息子は全く異なる人生を歩み、ほんのひとときの間、その人生が交錯する。

なお、本書では触れられていないが、フリーマン・ダイソン

の著作のドライブ感「未来地球からのメール」の著者である娘のエスター・ダイソンに引き継がれているのも不思議なものである。さて、この話しには続きがある。本書が出版された後、ジョージは、父の関わったプロジェクトであるオリオン計画についての著作、「Project Orion: The True Story of the Atomic Spaceship」を出版し、父の足跡を追うことになる。そうした後日談も含めて、家族の不思議さについて考えさせられる1冊である。

ちくま文庫版が絶版となっていたが、ヤマケイ文庫から復刊され、入手し易くなった。読み継がれていることの証であると思う。

# 司書の薦める1冊の本

図書館で今年度購入した本の中から、司書がお薦めする本を紹介します。



『マンガで「めんどくさい」がなくなる本』

鶴田豊和 著  
フォレスト出版 2020

どうですか？気になるタイトルじゃないですか？

この本には、日常の「めんどくさい」をなくすちょっとした工夫がたくさんあります。めんどくさがるの私は、それを知って様々な場面で役立てたいと思って読み始めましたが、何より心に残ったのは、「自分に甘くなろう」という言葉でした。『「めんどくさい」をなくす』とは正反対のこのように思いますよね？その答えはぜひこの本を読んでご自身で探してみてください！



『デザイナーじゃないのに！』

平本久美子 著 よしだゆうこ 漫画  
ソシム 2020

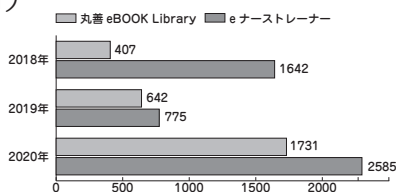
本書は、デザインの『基本ルール』が、コミカルな漫画によって分かりやすく解説されています。例えば、初心者にはありがちな「何かダサイ」デザインの理由が、具体例と共に示されていて、その理由を簡単に理解することができます(こ、これもデザインのカ…?)。

皆さんが社会に出た後、プレゼンテーションの資料やチラシ等を作る機会があるかと思いますが。そのような時に、側に置いてあると心強い一冊になるかもしれません。

# 電子書籍統計

過去3年間の電子書籍利用推移（1月～12月）

	2018年	2019年	2020年
丸善 eBOOK Library (書籍閲覧数)	407	642	1,731
e ナーストレーナー (ログイン数)	1,642	775	2,585



2020年は  
電子書籍の利用が  
かなり増えました！



丸善eBook Library閲覧回数上位書籍（2020年1～12月）

閲覧数	書名	発行所
125	家族はなぜ介護してしまうのかー認知症の社会学ー	世界思想社教学社
52	神経症候障害学ー病態とエビデンスに基づく治療と理学療法ー	文光堂
47	理学療法評価学ー障害別・関節別評価のポイントと実際ー	文光堂
39	大学生のための知的技法入門 第3版（アカデミック・スキルズ）	慶応義塾大学出版会
35	疾患別整形外科理学療法ベストガイド 下肢編	中外医学社

メディカルオンラインイーブックライブラリー閲覧回数上位書籍（2020年5\*～12月）

閲覧数	書名	発行所
27	極める脳卒中の理学療法 エビデンス思考に基づくアプローチ	文光堂
13	すぐに使える実践リハビリ技術マスターガイド 臨床で役立つ基本知識から評価・訓練まで 第2版	中外医学社
12	実践 高次脳機能障害のみかた	中外医学社
11	改訂2版 リハビリナース、PT、OT、STのための患者さんの行動から理解する高次脳機能ーなぜ、患者さんはこんな行動をとるの？どう対応するの？ー	メディカ出版
4	小児科臨床ピクシス19 ここまでわかった小児の発達	中山書店

\*2020年5～8月にトライアルをし、9月より一部タイトルを契約しました。

## 蔵書検索（OPAC）から電子書籍にアクセス



**フリーワード欄に【キーワード】入力**

**フリーワード** 脳卒中

**書名・著書名** 電子ブック

**書名欄に【電子ブック】入力**

**検索実行**

**【書名】タップ**

**【リンク先】タップ**

ID/PWは学生ポータル参照

# 電子ジャーナル利用回数ベスト10 集計期間：2020年1月～12月

順位	タイトル	回数	どんな電子ジャーナル？
1	Nature	743	科学分野の論文を掲載。
2	Journal of Biological Chemistry	328	生物化学に関する論文を掲載。
3	Proceedings of the National Academy of Sciences	285	全米科学アカデミー(NAS)の公式ジャーナル。
4	Science	262	科学系学術雑誌。
5	The Journal of immunology	207	免疫学に関する論文を掲載。
6	Geriatrics & gerontology international	204	日本老年医学会の公式ジャーナル。(英文)
7	Journal of medicinal chemistry	189	分子構造・生理活性・作用機序の関係の理解に貢献する研究を公開。
8	The Lancet ※PPV	172	世界五大医学雑誌のひとつ。
9	Food chemistry ※PPV	171	食品化学と生化学の進歩を扱った研究論文を発表。
10	Molecular and cellular biochemistry	161	生化学分野の研究論文等を掲載。

※PPV(購読誌ではなく、論文ごとの購入)

## 電子ジャーナル・データベースについてお知らせ

### ●2021年1月より、下記タイトルの新規購読を始めます

- Food & Function (食品機能、健康)
- Journal of Experimental Botany (植物学、細胞生物学)



### ●2021年4月より、医中誌webがアクセスフリープランに移行します

医中誌は8アクセスまで、リモートアクセスは臨時ID(2021年3月末まで利用可)として2アクセスまで、ご利用いただく人数と期限に制限がありました。

2021年4月より、アクセス制限なく利用可能となる予定です。リモートアクセスには、ID・PWが必要です。

開始時期が近づきましたら、学生ポータルサイト・イントラネットにてご連絡します。

# 年間貸出ベスト10

集計期間：2020年1月～12月

※同一書名でかつ図書IDの異なるものは合算してあります。

## 本館

回数	書名	著者名
9	フードスペシャリスト資格認定試験過去問題集 2020年版	／ 日本フードスペシャリスト協会
8	フードスペシャリスト資格認定試験過去問題集 2019年版	／ 日本フードスペシャリスト協会
8	日本十進分類法 新訂10版	／ もり・きよし

7	自律神経機能検査 第5版	／ 日本自律神経学会
7	管理栄養士国家試験過去問解説集 2020	／ 管理栄養士国試対策研究会
7	出生前診断	／ 佐藤孝道
7	出生前診断の現場から	／ 室月淳
6	パーソナル・ヘルスケア	／ 達吉郎 [ほか]
6	流浪の月	／ 風良ゆう
5	細胞培養入門ノート	／ 井出利憲

## 分館

回数	書名	著者名
22	ケアの基本がわかる重症心身障害児の看護 出生前の家族支援から緩和ケアまで	／ 倉田慶子
22	エビデンスに基づく疾患別看護ケア関連図 改訂版	／ 山本則子
19	病気がみえる7 脳・神経 第2版	／ 医療情報科学研究所

17	基準看護計画 第3版	／ 矢田昭子
16	病気がみえる11 運動器・整形外科	／ 医療情報科学研究所
16	病気がみえる2 循環器 第4版	／ 医療情報科学研究所
16	術中/術後の生体反応と急性期看護 第2版	／ 竹内登美子
14	疾患別看護過程の展開 第5版	／ 山口瑞穂子
14	重症心身障害児・者診療・看護ケア実践マニュアル	／ 北往映二
12	外来/病棟における術前看護 第2版	／ 竹内登美子

## 薬学部図書・資料室

回数	書名	著者名
7	薬剤師国家試験問題解答・解説 83回(10年春)	／ 村上泰興 [ほか]
7	薬剤師国家試験過去問題集 第93回	／ 薬学ゼミナール
7	薬剤師国家試験既出問題集 第96回	／ 薬学ゼミナール

7	薬剤師国家試験問題解答・解説 81回(8年春)	／ 村上泰興 [ほか]
7	初心者のための動物実験手技 1 マウス・ラット	／ 鈴木潔
6	薬剤師国家試験過去問題集 第92回	／ 薬学ゼミナール
6	薬剤師国家試験問題解答・解説 84回(11年春)	／ 村上泰興 [ほか]
6	薬剤師国家試験問題解答・解説 82回(9年春)	／ 村上泰興 [ほか]
6	組織学 改訂20版	／ 阿部和厚 牛木辰男
5	アンサンングシンデレラ 1 病院薬剤師葵みどり	／ 荒井ママレ

## 図書館の窓

今年度の図書館活動報告です。図書館は、大学生活を送るうえで欠かせない学修のお手伝いをしています。みなさんもぜひ図書館をご活用ください。

### 図書館活動

4月	【全館】	・新型コロナウイルス感染拡大防止対策による臨時休館(3月17日～5月29日)
5月	26日～	【全館】・新型コロナウイルス感染拡大防止対策 <sup>p.8</sup> 【本館】・県内貸借サービス再開
6月	1日～	【全館】・本学学生・教職員対象に利用再開(9:00-17:00)
6月	12日～	・一部設備の利用制限(OPAC、閲覧席、PC席、ソファ) <sup>p.8</sup> ・文献複写サービス受付再開(専用メールアドレス作成)
7月	16日	【本館】・図書福袋企画(「レクリエーション論」授業コラボ)
7月	21日	【薬図】・Natureオンラインセミナー参加 ・Clarivate「Journal Citation Reports」Webセミナー参加
9月	9-10日	【薬図】・JUSTICEオンライン版元提案説明会参加
9月	14日	・Springer Natureオンライン説明会参加
9月	17日	【本館】・私立大学図書館協会研究大会(オンライン)参加
9月	28日～	【全館】・夜間利用再開(9:00-18:15) (※薬学部図書・資料室のみ木・金曜日は9:00-17:00)
9月	28日	【分館】・看護研究概論DBガイダンス(遠隔)(全1回 105人)
10月	5日～	【全館】・閲覧席、PC席 事前予約制で一部利用再開 <sup>p.8</sup> (※分館PC席は19日～)
10月	5日	【本館】・閲覧席、PC席利用再開のため、通路制限バリアケード撤去
10月	9日	【分館】・健康栄養学科3年DBガイダンス(全1回 17人)
10月	14日	【薬図】・SciFinder-nオンラインセミナー参加
11月	25日	【薬図】・コクランライブラリーオンライン利用講習会参加
11月	30日	・第29回京都図書館大会(オンライン)参加

### 特集

6月	【本館】	・新型コロナウイルス対策 ・レポート作成、就活本、 自粛疲れコーナー
6月	【薬図】	・『アンサンングシンデレラ』 ドラマ化記念
7月	【本館】	・授業内紹介本(レクリエーション論コラボ)
8月	【本館】	・栄養の日
9月	【本館】	・めざせ! 学生リーダーへの道
10月	【分館】	・お部屋の本ご紹介します
10月	【薬図】	・薬と健康の週間
11月	【本館】	・マンガで学ぶ!
11月	【薬図】	・薬剤耐性(AMR)対策推進 月間
12月	【本館】	・奥が深いぞ! 上毛かるた ・健大ツリーを飾ろう!
12月	【分館】	・『コウノドリ』完結 特集
12月	【薬図】	・アロマ&ハーブの力で冬を 乗り切ろう

# 新型コロナウイルス感染拡大防止対策



**カウンター** '20年5月 正面、通路側などに飛沫防止シート、アクリル板を設置。  
誘導案内の矢印、待機場所などを設置。



本館(2号館1階)



分館(5号館1階)



薬学部図書・資料室(7号館4階)

**出入口** '20年6月 人数制限管理用のネームプレートは、手渡し、またはセルフで設置。手の消毒必須。  
'20年6月15日 入館の際に本学発行の「入構許可証」の提示を義務化。



本館 受付



分館 入口前



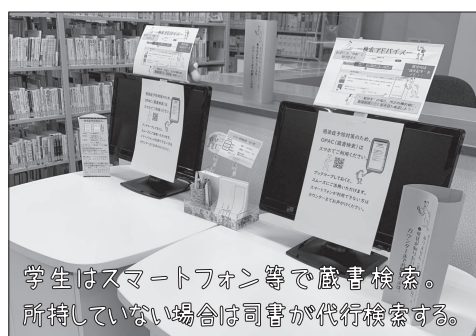
薬図 入口前



薬図 受付

## OPAC (検索機)

'20年3月 全館使用禁止  
WebOPACのQRコードを掲示。



学生はスマートフォン等で蔵書検索。  
所持していない場合は司書が代行検索する。

## 図書消毒機

'20年6月26日 全館設置  
紫外線(UV-C)で殺菌消毒。



セルフで使用可能。  
返却された本はすべて消毒する。

## 観覧席・PC席

'20年10月5日 事前予約制で一部利用再開  
Googleフォームで予約フォーム作成。



観覧席・PC席は、全館すべて利用後に  
都度消毒している。

## 編集後記

コロナ禍の中、オンライン授業導入で、学修が大きく変化し、対面授業の大切さ、オンライン授業やリモート会議の利点を実感した年でありました。本学図書館員も感染防止対策に細心の注意を払いつつ開館しています。学修を支えるため、オンライン授業における著作権処理の問い合わせに応え、データベースを学内だけでなく自宅でも利用できるようリモート利用の拡張、電子ブックの拡充をしてきました。

その電子ブック利用の高まりを見ると、図書館でゆっくり書物を広げることには制限がある今だからこそ、研究支援にデータベース、電子ジャーナル、専門図書の電子ブックを提供することのほかに、哲学書など教養書の電子ブックの提供をしたいと感じています。不要不急の外出を控える今、多くの先生方から知の扉を開く「私の薦める1冊の本」はきっとみなさんの心を豊かに満たしてくれると思います。

読むことから、それを検討し自分の意見を自主的に決定する合理的精神を養う図書館の役割をコロナ禍でいかに果たしていくか、図書館員一同頑張っています。今号も寺田勝英先生はじめ、たくさんの先生方にご協力いただきありがとうございました。

(太田克子)